

# 一般質問通告書

【第79回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様  
多可町議会議員 笹倉政芳



受領日	番号
平成29年8月24日 午前・午後 5時9分	2

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 地方創生の次の展開は	町長
1、平成27年10月策定のまち・ひと・しごと創生、きらり輝くプラチナ戦略の実践により、選べるまち選ばれるまち多可町をめざしてラベンダーの6次産業や健康保養地の推進などに取り組んできたが、地方創生（地域創生）の次の展開をどう考えているか。 2、ロバートさん提案の多可町版 NGI 構想（新しい世代研究所創設）を推進するプロジェクトチームを編成しては。	
2.	
3.	

## 質 問 の 内 容

### 地方創生の次の展開は

先日、1990年にALT（外国語指導助手）として初めて来日され、中町中学校で2年間教壇に立って熱心に英語指導にあたられた、ロバート・D・エルドリッチさんからお話を聞く機会がありました。

ロバートさんは現在、エルドリッチ研究所の代表をされており、日本をはじめ世界各地から若手の研究員を集め、様々な分野から、イノベーションに富むアイデアを立案する事を目的に、研究所の創設を目指されています。

そこでの研究成果を地元の企業やNPOなどと連携共有することにより、新しい品物・ブランド・システム・政策などを生み出し地域の発展につなげていくNGI構想（新しい世代研究所創設）を持っておられます。

ロバートさんは、その研究所を「思いで深い多可町」で一番に開設し、第二の故郷多可町を元気にしていくスタートを切りたいと熱く語られました。

率直な意見として、コストの面、地元企業の受け入れなどのハードルはありますが、町長の施政方針でもある多くの可能性を有し人呼び込む「磁場の町」新しい可能性に果敢に挑戦できる「創造の町」として、多可町の好循環を作り出すチャンスとするべきではないか、この構想こそ地方創生ではないかと直感しました。

ロバートさんが提案されたNGI構想に対して多可町としても誠意をもって真正面から、受け止め、話し合い、何が協力できるか、できないか、しっかりと対応していくことが大事なことと感じています。

チャンスとタイミングが大切です。ぐずぐずした対応では、ほかの市町にその場を移されるかもしれません。できることから行動に移すこと。まず、役場の中に多可町版NGI構想を推進するためのプロジェクトチームを編成してはどうでしょうか。小さな一歩が大きな一歩となる可能性があるのです。

少子高齢化が進み、若者が出ていく中で、現場で働く従業員の確保も難しい状況の企業が多いのが現実です。

多可町版NGI構想はそれらの課題に真剣に向き合い、経済の活性化を図るとともに地域の人材や特性を生かした、懸案事項である空き施設や空き家対策にも少なからず貢献できると思います。

多可町を元気にするための取り組みとしてぜひチャレンジする事業ではないかと思ひ質問をさせていただきました。

ここはひとつ町長の英断に期待し答弁を求めます。